

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 1 年
授業者氏名 横井 聡	
題材名 ポップコーンを一緒に食べよう！	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 畑で採れたポップコーンを他の保育園の園児と一緒に食べることを考えている子どもたちが、 固いポップコーンの材料と歯の関係に着目し、 様々な食べやすくする工夫があることに気づき、実際に園児に食べてもらえるようにその調理方法を考えることができる。	
学習材	
成 果 子どもたちは、歯でかむことの良さ、硬い実が残ると歯が欠けてしまう不安、歯にいい味付けとは何かなど、園の子たちはどういう意識なのだろうという気持ちで準備を進めることができた。	
課 題 これまでに育てた夏野菜やサツマイモの料理においても、歯と口の関係について考える場面があると、より考えが深まった可能性がある。ポップコーンだけでは、歯と口の健康に結びつけるのはやや難しさを感じた。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 2年
授業者氏名 星野こず恵	
題材名 歯にいいおやつを作って味わおう。	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 栄養士の話をもとに、畑で収穫した野菜を使った歯にいいおやつとして、干しいもといももちを作ることにした子どもたちが むし歯になる理由や、歯によい食べ物の条件に着目し、 調味料を考えて作ったり、実際に食べて「甘味・かみ応え・歯にくっつくか」の視点で振り返ったりすることを通して、 野菜本来の甘味や干すことによるかみ応えのよさに気づくことができる。	
学習材 栄養士の話をもとに考えたチェックポイント「甘味」「かみ応え」「歯にくっつくか」	
成 果 先月の学習から歯にいいおやつの条件は「お砂糖が少ないもの（自然の甘味）」「歯にくっつきにくいもの」「歯を強くする栄養があるもの」「かみごたえがあるもの」であることに気づいた子どもたちは、生活科の時間にさつまいもとじゃがいもを使ったおやつの作り方を調べ、「干し芋」と「いももち」を作って食べてみた。いももちは味つけも考えたが、砂糖を用いた子はおらず、のりを巻いたり、醤油やバターなどを用いたりするなど、風味を楽しむ味つけにした班が多かった。 チェックポイントを設けて振り返ったので、ただおいしいかどうかだけでなく、「干し芋は3日後より1週間干したもののほうが自然の甘味が増すし、堅くてかみ応えがあって歯にいいと思う。」というように、歯にいいおやつかどうかという視点で振り返ることができた。両方とも簡単に作れるので、家でも作ってみた子が多かった。 また、週末のおやつ調べも行ったところ、「ちょっと砂糖が多すぎた。」「おせんべいはよく噛んだからいいと思う。」など子どもなりに意識して見返す様子が見られた。	
課 題 学校での取り組みを子どもが持ち帰り、家庭によっては、子どもと一緒におやつの取り方や、歯みがきについて考えていただけた。学校だけでなく、家庭での食や歯みがきの様子も振り返られる場を設けていきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 3年
授業者氏名 塩澤佑樹	
題材名 「噛む良さって何だろう」	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 食事のときのかむ良さについて学んだ子どもたちが、自分自身が物を噛むときの様子に着目し、給食でお互いの噛む姿を見合ったり、噛むことを意識して食べたりすることを通して、よく噛んで食べる習慣の素地を培うことができる。	
学習材	
成 果 ・ 食事中の習慣には無意識であるということに子どもたちが気づき、お互いに意識してよく噛むことをしようとする姿が見られた。	
課 題 ・ 今回のように実生活の場面と関わらせながら、継続的に行っていきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名	本郷小学校	学年	4年
授業者氏名 守屋 久美			
題材名 こども8020推進員として自分や家族の歯と口の健康について考えよう			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 理科「人の体と運動」において、骨の仕組みや様子について学んだ子どもたちが、歯も骨の一部であり、骨を育てることは歯の健康にもつながることに着目し、骨や歯の成長を促す食べ物や生活の仕方について考え合ったり調べたりすることを通して、カルシウムを積極的にとる、睡眠を十分にとるなど骨や歯のよりよい成長について関心をもったり、自分の生活をよりよくしようとする意欲を高めたりすることができる。			
学習材 ・養護教諭の歯のクイズ（動物編） ・8020推進員ノート			
成 果 冬休みを前にこども推進員として、自分や家族の歯と口の健康のために冬休みの生活の中でできることをそれぞれ考えることができた。「毎日フロスをする」「歯にもよさそうだから生活リズムをくずさない」「毎日9時間ねる」「カルシウムをしっかりたい」「1日3回歯みがきをする」「よい姿勢で食べる」「30回以上かむ」「歯のことをもっと調べたい」「歯によい食べ物をまとめる」など、実践への意識を高めることができた。推進員ノートにはご家庭での様子を保護者に記す箇所もあるため、学級便りでよびかけこの機会に子どもの変化について親御さんからも感想をいただく機会とした。			
課 題 家庭での生活で、児童がどれほど歯や口の健康について意識が高まってきたか、実践に結びついているか、保護者の方々からの気づきも今後の実践につなげたい。取り組みが家庭や地域に広がっていかれるように。			

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 5年
授業者氏名 清水 友貴子	
題材名 バイトスキャンで自分の食べ方を知ろう	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、○○に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して (本時の中核的な学習活動)、○○する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。	
主 眼 講演会を通し噛むことの大切を再認識した子どもたちが、食べ物の軟らかさが噛むことにどう影響するかに着目し、バイトスキャンで2種類の献立を食べたときの結果の分析を通して、自分の噛む癖に気づいたり、食材によって噛む回数が変わることを実感したりすることができる。	
学習材 バイトスキャンとその結果	
成 果 ・ 噛む回数だけでなく姿勢、テンポなど普段考えない点が目でみてわかることにより、食事と噛むことの関連を考えることができた。 ・ 噛みごたえのある食事とそうでないときと大きな差があることに気がつき、普段の食事からよく噛もうとする意識をもてた子が多かった。	
課 題 ・ 分析の時に、自分の噛んだ回数や姿勢に目がいき、食べやすさとの関連に気づかない子もいた。着目ポイントをしっかりおさえるべきだった。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 6年2組
授業者氏名 小林 未夢	
題材名 自分が普段の食事でのどのくらいかんでいるのか調べよう	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 バイトスキャンを実施して食事のかむ回数を知り、理想的な食事の取り方に着目した子どもたちがバイトスキャンの総合的な結果をみて、自分自身のかんだ回数や姿勢、落ち着きと友だちの結果を見比べることを通して、食事取り方をよりよくしていこうとすることができる。	
学習材 バイトスキャン	
成 果 咀嚼回数だけでなく、姿勢や落ち着きなどを踏まえた総合的な結果が、動物に例えて示され、子どもたちにもイメージがとらえやすかった。「自分はまるのみ蛇さんだったから、『サラブレットうまさん』を目指せるようにがんばりたい」などという振り返りもみられ、食事の取り方をよりよくしていこうという姿がみられた。	
課 題 バイトスキャンのときはそのために時間を取り、ある程度の時間が確保されていたが普段の給食は時間のゆとりがなく、休み時間早く遊びに行きたい子どもたちにとってゆっくりかんで食べるということは難しいように思う。	